

2022-5-1
No.1076 500円

思想運動

特集=ウクライナ事態に乗じた戦争政策反対 1~6面
 帝国主義戦争に抗すギリシャ労働者に連帯 2面
 ウクライナ戦争で反戦運動が崩壊の危機 3面
 ウクライナ問題の見方(浅井基文・李東坤) 4面
 女性の労働者通信特集(前々号)を合評 7面
 労働時評=経団連会長演説を読み解く 8面
 沖縄「復帰」50年を問う 10~11面

沖縄戦終焉の地で行なわれた平和祈願の「摩文仁・火と鐘のまつり」
 (一九九九年十二月三十一日、糸満市摩文仁 豊里友行写真集「沖縄にどう向き合うか」より 関連記事12面)



ウクライナ戦争が生み出した「翼賛」状況 「科学」による状況認識を

闘争の武器として

「情報戦」の役割を増大させ、虚実入り乱れ、意図的にロシアのウクライナ侵攻をうけ、保守反動から共産党も含めた平和勢力までもが「ロシアアタタキ」一辺倒の「翼賛」状況だ。このウクライナ侵攻を欠いた状況の原因は何なのか。花田清輝が「プロレタリアートの役にたつものは『善』であり、役にたたないものは、『悪』であって、それが役にたつ、なすが役にたたないかをきめてくれるものは、『科学』だ」(世の中に「善」があり、「悪」がある。一九五六年初出)と強調してから七〇年が経とうとしてい

る。しかし、いまだに「科学」が無視されているようにわたしには見える。元来、科学とは、人民の当たり前の感覚に訴える手法であり思想である。それゆえ支配階級のデマを暴く武器でもあった。といっても、何も特別なことではない。大きすぎたり小さすぎたり、遠すぎたり近すぎたり、早すぎたり遅すぎたりして直に「見えない」ときには、どついても確かな情報から論理をもって仮説を立て、繰り返し確かめるほかはない。そのとき「みんなが言っている」からの多数決では判断できない。たゞは計算問題を解くときには答えを多数決で決めたりしない。しばしば直感を裏切る結論が導かれるのも、「見えない」ものが見えるようになるためだ。

「情報戦」の役割を増大させ、虚実入り乱れ、意図的にロシアのウクライナ侵攻をうけ、保守反動から共産党も含めた平和勢力までもが「ロシアアタタキ」一辺倒の「翼賛」状況だ。このウクライナ侵攻を欠いた状況の原因は何なのか。花田清輝が「プロレタリアートの役にたつものは『善』であり、役にたたないものは、『悪』であって、それが役にたつ、なすが役にたたないかをきめてくれるものは、『科学』だ」(世の中に「善」があり、「悪」がある。一九五六年初出)と強調してから七〇年が経とうとしてい

ミサイルは誰を狙う

米国のミサイルによるトンパス紛争の停戦を望まなかった。米国の独占資本はトンパスの緊張状態に乗じて巨大な利潤を上げていた。かれらは大砲やジャベリン対戦車ミサイルも含む数十億ドル規模の武器輸出を行ない、ウクライナ政府によるミサイル合意違反の軍火器によるトンパスへの攻撃を支援したのである。そのためにウクライナ東部では、この八年間で二万四〇〇〇人もが殺された。

ロシアのウクライナ侵攻後、三月下旬にはベラルーシで、三月二十九日にはイスラエルで停戦交渉が行なわれ、その翌日にロシア軍はブラチヤからの撤退を完了した。その後、「フチャデのジェノサイド」がロシア軍による戦争犯罪の動かぬ証拠だと世界中で報道された。一方で、ロシア軍による関与を否定する証拠もいくつ指摘され、この報道をきつかけにして米国のNATO諸国によるウクライナへの大規模な追加的軍事援助が決まり、停戦交渉は暗礁に乗り上げた。

戦争がさらに続くことが明らかになると、米国の軍事関連株は急上昇を見た。たゞはロッキード・マーチン社は二か月で二割跳ね上がった。大規模経済制裁の影響でロシア株は「一人負け」の状況だという。世界の軍事予算の約四割は米国が占める。米国はさらに五ポイント引き上げてGDP比四％にすると発表したが、日本も二％への倍増を政府自民党が計画している。ドイツはGDP比一・五％から二％以上になると発表している。つまり膨大な軍事費は労働者・民衆を殺し殺されることに使われ、その費用はめぐりめぐって労働者が支払う。そこに別の別はない。労働者階級の命と、資本家階級の莫大な利益とが、資本主義の生産関係を通じて取り引きされているということだ。しかし日本民衆の八九％が不安を感じている」と答え、六四％は「防衛予算」の増額に賛成している。ゼレンスキーは「市民」などにならずに「職場をわれわれのものとする」闘争をする必要がある。それがストライキというよりも平和的な方法によって自国政府の戦争政策を止めることを可能とする。労働とは元来、平和的なものなのだ。戦争の責任は資本家階級とそれに独占された政府にあるが、それを止める責任はわれわれにある。

「真理は少数派に宿る」
 民衆の圧倒的多数の支持があつて戦争は可能となる。ITの蔓延は今日の戦争におけるたり党員や活動家が暴行されたり行方不明になっている。さらにゼレンスキーは三月十二日にも左派野党二党を非合法にした。それでも侵略されているウクライナの民衆の「人道的危機」を止めるために、ロシア批判に集中すべきだとの主張ばかりが目立つ。では、イラクやアフガニスタン戦争や、沖縄の反基地闘争や、今現在も繰り返される在日朝鮮人への差別と迫害や、日本による中国や朝鮮をしてアジアへの侵略や、日本軍性奴隷制度問題、つまり日本帝国主義の犯罪を「人道的危機」として報道するのはなぜだろうか。

「真理は少数派に宿る」
 民衆の圧倒的多数の支持があつて戦争は可能となる。ITの蔓延は今日の戦争におけるたり党員や活動家が暴行されたり行方不明になっている。さらにゼレンスキーは三月十二日にも左派野党二党を非合法にした。それでも侵略されているウクライナの民衆の「人道的危機」を止めるために、ロシア批判に集中すべきだとの主張ばかりが目立つ。では、イラクやアフガニスタン戦争や、沖縄の反基地闘争や、今現在も繰り返される在日朝鮮人への差別と迫害や、日本による中国や朝鮮をしてアジアへの侵略や、日本軍性奴隷制度問題、つまり日本帝国主義の犯罪を「人道的危機」として報道するのはなぜだろうか。